



◆お品書き◆
【その言】CODEレター VOL.25
【その式】寺子屋セミナーちらし
【その参】ホワイトバンド販売のお知らせ
【その四】ハリケーン支援募金のお願い

以上

2005年「9・11 セプテンプターコンサート」IN 北野

島田 誠

(CODE理事/アート・サポートセンター神戸代表)

セプテンプターコンサートは2002年9月11日ニューヨークで始まりました。1年前の同時多発テロをきっかけに、人々が「平和」への思いを音楽に託して集まったのです。緑あふれる公園や人が行きかう通りのカフェに、この日、いろんな音色が響きわたりました。それに呼応して神戸で3回目のセプテンプターコンサートを迎えます。

私たちは、この日、音楽を通じて「平和への思い」を新たに、世界中の貧困や差別を無くしていく歩みを始めることを心に誓いたいと思います。

「Do Something」、一人一人が小さな石を投げる。自分に出来ることを探し、行動することによってしか希望は生まれないのです。
(コンサートちらしより抜粋)

第3回目となる「セプテンプターコンサートIN 北野」。今年は、あらたにライブハウス「クレオール」との2会場で開催しました。

このコンサートは「NY 9.11」を契機に始まったわけですが、「テロの犠牲者を悼む」ということではなく、音楽を通じて、憎しみ会うことなく、誰一人「殺すな！殺されるな！」という思いのもと、世界中の人々が、差別や貧困のない、平和な世界への思いを繋げていく日でありたいと考えます。

会場では「ほっとけない 世界の貧しさキャンペーン」の映像とホワイトバンドの販売、ギャラリー島田制作の、「9・11 平和への祈り」の映像を流しました。NYの貿易セン

タービル爆破直後の写真やヴェトナム戦争、カンボジアの子供達、イラクでの死者や第2次世界大戦での死者数などに挟んで、美しい日本の自然を写しました。

アート、とりわけ音楽には社会を動かす力があります。侵略やファシズムとの闘いで市民を奮い立たせたシベリウスの「フィンランディア」やヴェルディの「ナブッコ」、ジョン・パエズやジョン・レノンなどのメッセージなど枚挙にいとまがありません。

セプテンプターコンサートは、戦争のない世界へ向かって静かに、しかし確実に繋がって、広がっていく試みです。第一会場「クレール」では17:30から19:00、第二会場「ギャラリー島田」では19:00から21:00まで。両方を聴くと3時間半というロングコンサートでした。でも実際には両会場共に大幅に時間を延長、延べ5時間にも及びました。延べ出演者は30名。ジャンルもクラシックからアジア音楽まで多彩。中国、台湾、インド、中南米、パッサリやオペラ、日本民謡、詩の朗読と篠笛コラボレーションなど息もつかせぬと言っても過言でない充実ぶりでした。お客様は立ち見が出る盛況で、2会場合わせて、120名を超えました。

出演者、多くのボランティア・スタッフさんとお客様との交流会が終わったのが23:30でした。

島田 誠

スタッフ斉藤容子の退職のお知らせ

ー事務局スタッフの斉藤容子がイギリス留学のため、8月20日をもって退職致しました。斉藤はスマトラ沖地震津波、アフガニスタン、イラン地震の復興支援に力を注ぎ、多くの被災者の声を聞いてきました。特にイラン地震においては発生当初から活動してきました。以下に、斉藤からの挨拶を掲載しますー

●退職のご挨拶 斉藤容子

いつも皆様の暖かいご支援・ご協力ありがとうございます。このような形で紙面を割いてしまうのは申し訳ないのですが、この度CODEを退職することになりましたので、一言ご挨拶をさせていただきますと思います。

偶然な縁があり、CODEへ勤めだし3年の月日が経とうとしています。経験も知識もなかった私が初めて現場へ訪れたのは、タリバン政権崩壊1年後のアフガニスタンでした。飛行機の中から目にした空港敷地内には未だ飛行機の残骸が散らばり、タラップを下りる私に十分な緊張を与えました。しかし、出会った人々は心からもう戦争は嫌だと、日々ぶどうを育てながらゆっくりとした生活を送ろうとしていました。この日々の生活を守ることが、平和に暮らすということなのだ。アフガニスタンでは教えてもらいました。そして、2003年暮れのイラン・バム地震直後から私は8回に渡り、バムへと足を運んだこととなります。目の前で泣き叫ぶ人や、悲しみを我慢しきれず夜になれば私の手を握り、静かに泣く女性を前にし、私にできることは何なのかと何度も考えました。結局、私自身ができることは限られていて、ここに来ている一番の意味は、バムの人たちを心配し、支援を託して下さっている支援者の方々は1人だけじゃないよ、という声を届けることではないかと思うようになりました。そして、神戸とバムの子どもの間でも始まった「しあわせ運べるように」の交流プロジェクトで子どもたちは希望だと本当に教えてもらいました。国内外において素晴らしい方々に出会い、いつも学ばせていただくばかりでした。しかし、今度はその方々へお返しができるようもう少し知識を得て、CODEをサポートできる側になりたいと思います。多くの皆様の支援があつての私たちの活動です。今後とも よろしく願います。

9/6に行われた歓送会（前列中央が斉藤）



NGOことはじめ「国際協力と私」

CODEが毎年行っているNGOことはじめセミナーは、今年度

「国際協力」というテーマで、第7回に渡ってJICA兵庫、日本国際連合協会兵庫県本部、(財)兵庫県国際交流協会と主催しています。

第1回から3回は、以前にちらしでお送りしたように、国際協力の仕事に就きたい人向けで、「UNDPで働いて」（既に終了）、「Peace Winds Japanで働いて」（9月22日）と「JICAで働いて」（10月7日）となっています。

第4回から第7回「国際協力と私」は、国際協力に興味のある人を対象に、以下のような内容になっています。

第4回「企業と国際協力」11月12日（土）14:00～16:00、講師は日本航空広報部マネジャーの井出勉氏。第5回「高校生と国際協力」11月19日（土）14:00～16:00、コーディネーターは舞子高校の諏訪清二教諭、パネリストは高校生4人。

第6回「主婦と国際協力」12月1日（木）14:00～16:00、講師は神戸で国際協力を行う2つのサークルからの代表。

第7回「ボランティアと国際協力」12月14日（水）18:00～20:00、講師は現在検討中。

会場はいずれもJICA兵庫、定員は50名、参加無料。

次回のCODEレターで詳細を記したちらしを同封しますが、第4回からのセミナーのお申し込みは、CODE事務局までお名前、ご所属、電話番号、参加希望の回をお知らせ下さい。

11/26～ 全3回寺子屋セミナー「予防防災」

11月26日から「予防防災」をテーマに、独立行政法人消防研究所の室崎益輝理事長を講師に迎え、全3回の寺子屋セミナーを開催します。詳細は同封のちらしをご覧ください。

8月の活動記録 7/22～8/31

- 7/22～29 JICA調査団としてモルディブに派遣（濱田）
- 7/24 ボランティアの日
- 8/1～4 インドで開催されたADRRN（アジア防災・災害救援ネットワーク）のワークショップに参加（斉藤）
- 8/5～11 第6次イラン南東部バム地震支援調査（斉藤）
- 8/22～29 セブ・ザ・ワールド・アライアンスが開催するでニアス島での防災教育普及のワークショップに参加（村井・濱田）
- 8/23～31 第7次イラン南東部バム地震支援調査（斉藤・飯塚）
- 8/24 HAT神戸内、国際機関訪問ツアー-1日目（飯塚・斉藤）
- 8/25 HAT神戸内、国際機関訪問ツアー-2日目（飯塚・斉藤）

ありがとうございます 7/21～9/10

会員・寄付者ご芳名（以下順不同・敬称略）

◆一般寄付

個人：笠置りか、山口一史、雄山真弓、坪谷令子、山田千恵子、川崎すゑ、岡本牧子（以上兵庫県）、成毛典子、三島宣彦（東京都）

◆会員

賛助会員 個人：正宗賀代、西角裕子、西山安子、山田千恵子、榊原殷子、光葉啓一、広川嘉宏、小谷美智子（以上兵庫県）、伊東裕子（大阪府）